



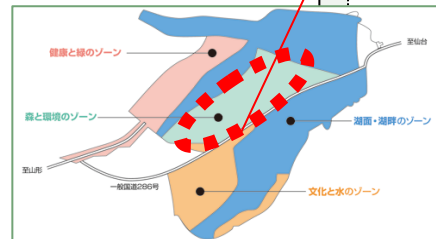
みちのく森の楽校だより 第4回

みちのく公園「里山地区」とは？

みちのく公園「里山地区」は、仙台市の水瓶である釜房湖に面した里山です。ここにはかつて薪を採り炭焼きをしていた雑木林や、100年程前に植えられたスギ林があり、尾根には馬が荷を引いた里道、谷あいにはため池や棚田の跡もみられます。

みちのく公園では、この「里山地区」を、釜房湖という仙台市の水源を涵養するかけがえのない森であると捉え、その健全化のための樹林管理を行うとともに、人と自然とのかかわりが培ってきた里山の自然や文化を保全、継承し、今日に活かすことを目指しています。

里山地区



7月26日（土）晴れ 夏休みに入って、猛暑の中の活動です！

森の楽校の第4回は、梅雨明け間近の暑い日でした。学校によっては夏休みに入ったところもあります。ものづくりの活動は、4月から始めて長らく作ってきた園路名称サインづくり。半分は、ついに建て込みをしました！実際に建ててみると感慨しきり。あと少しで完成です！

プランター畑の野菜の収穫！

小野分校裏に小さなプランター畑を作っています。ナスとキュウリが食べごろになったので、子供たちが収穫しました。

収穫の写真を撮り忘れたので、切った姿をご紹介します。瑞々しいですね。



梅干しづくり！

梅の収穫には少々遅くなりましたが、南地区の湖畔の広場で梅を収穫しました。塩漬けにして、梅干しづくりをしています。暑い夏には梅干しが必須！



炭焼き窯でピザづくり

里山でピザ？炭焼き窯の多目的利用ということで、ピザ作りをしました。小麦粉は自然共生園産。野菜は里山産。これも地産地消のひとつ。朝、練った生地はお昼には発酵して大きく膨らみました。火入れをした窯に石を敷いて、熱くなったところに生地を置いて焼きました。



かき氷

デザートは、かき氷。シロップは前回、里山で収穫したグミの実を砂糖漬けにしておいたもの。グミの実は生のままでは渋みがありますが、砂糖漬けで美味しいシロップに生まれ変わりました。



園路名称サインの建て込み

園路は8本あって、2園路1本に2か所ずつの名称サインを設置する予定です。他には「森の楽校」への誘導サイン2か所と「行き止まり」の規制サインが1箇所です。

必要なサインの半分はできたので、できた分を現地に建て込みをしました。建てる場所は予め調査して、決めておきました。

サインと穴掘りの道具を運搬して、いざ！

現地に穴を掘って支柱を建て込んでいきます。穴掘りは地面が固い場所もあって、なかなか大変でした。どうです！わかりやすいでしょう



園路名称サインづくり



作らなくてはならない名称サインはまだありますから、制作班は「森の楽校」に残って、サインづくりをしました。

杉丸太を半割りにした材に、文字の下書きをして、下書きに沿ってルーターで掘って、全体にきれいにやすりを掛けます。

支柱は、細い丸太や太い丸太を割ったもの。必要な長さに予切って、皮をむいておきます。

サイン版と支柱にしっかりと防腐剤を塗って乾燥させたら、文字に墨入れ。サイン版と支柱はビスでしっかりと留めたら完成。

ついでにトイレや隠れ家の名称産も作りました。里山の樹木を伐倒して手作りで作ったサイン。味がありますね。

田んぼの様子

「びっきの水辺」の一部を田んぼにしてみました。ガマを掘り取り、土嚢で囲いをして水を貯め、「ふるさと村」の不耕起用の大きな苗を6/21に植えました。

周りのガマに負けてしまわないか、とても心配ですが、育っています。



ハンモック

木立にかけたハンモック。木陰で夏の風に吹かれています。



8月2日(土)は「夏休み里山はじめて体験」と銘打った、体験イベントです。ふるってご参加ください！

第5回の会員活動は8月23日(土)、サインの建て込みと「あかまつだいら」の調査をします。